

清 田 泰 寛 個 展

雷 雷 抱 雷 雷

2014年2月22日[土] - 3月9日[日]
京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA2[2階]

※2月22日[土] 16時よりオープニングレセプション
※月曜休館[月曜が祝日の場合は開館、翌火曜が休館]

@KCUA
KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY



1.



2.



3.

1《題に放電の兆し》
2013 W165×D35×H150(cm)
木、キャンバス、アクリル絵具、
フェルトペン、顔料

2.《クール圧電ミント》
2013 W173×D45×H197(cm)
木、キャンバス、
アクリル絵具、フェルトペン、顔料

3.《雷大根》
2013 W130×D81×H205(cm)
木、キャンバス、
アクリル絵具、フェルトペン、顔料

※2,3.は参考作品

清田泰寛 個展

雷雷抱雷雷 らいらいほうらいらい

日時：2014年2月22日[土]ー3月9日[日]

※月曜休館(月曜が祝日の場合は開館、翌火曜が休館)、2月22日[土]16時より オープニングレセプション

会場：京都市立芸術大学 ギャラリー@KCUA 2 [2階] 主催：京都市立芸術大学

このたび、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAでは、清田泰寛の個展「雷雷抱雷雷」を開催致します。

清田泰寛は、2010年に京都市立芸術大学美術研究科絵画専攻油画を修了後、シェアスタジオ「むこうスタジオ」を立ち上げ、2度のオープンスタジオの開催やKYOTO STUDIO(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA)、暗黙知(超京都2013内の特別展示・京都市立芸術大学キャリアアップセンター企画)等のグループ展に出展するなど活躍が目覚ましい若手作家です。

これまで清田は、言葉が図像に直結するような絵画表現を目指し、制作発表を続けてきました。今回の展覧会名「雷雷抱雷雷」とは、言葉を選び、組み合わせることが清田の創作行為の要であるということを受け、出展作品の中で素材として用いられた言葉を直接的に繋ぎ合わせた造語です。

清田は、作品制作を続ける中で、ブライス・マーテンやエリザベス・マーレイ等の新表現主義以後の絵画表現

に関心を持ちながら、表現形式には、作品にイメージの必然性を持たせるために、変形キャンバスや基底材が露出したような半立体を選んできました。今回の出展作品には、清田が近年取り組んでいる、キャンバス布を材木で組まれた立体的なフォルムに張り込んだシリーズがあります。本来はただの綿布であり、絵画作品の支持体であるキャンバス布が、清田の考える言葉やイメージのルールに従って、まるで部首を集めて漢字を造るかのように組まれた木枠の凹凸を覆い張り込まれることによって、独特な曲面を描きながら新たなフォルムを形成します。さらに、そこにアクリル絵具による色彩とマチエールが重ねられ、複数の要素が一つの作品として集約されます。

本展では、新作6点と旧作1点の計7点の作品を出展いたします。日々活動を続け、表現を模索する作者の姿勢を垣間見ることが出来る展覧会です。是非、多く皆様にご高覧頂けますようお願い申し上げます。



京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts

@KCUA

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY
京都市立芸術大学 ギャラリー・アクト [堀川御池ギャラリー内]



地下鉄「二条城前」駅(2番出口)南東へ徒歩約3分
市バス「堀川御池」バス停下車すぐ

〒604-0052 京都市中京区油小路通御池押油小路町238-1
http://www.kcuu.ac.jp/gallery/ Tel: 075-334-2204